

	項目	全国平均 (%)	病院毎 (%)	
			中央値	IQR
PSC	1 脳梗塞の患者に対し、NIHSSによる重症度評価がなされている	91.0	96.4	87.2 - 100
	2 発症3.5時間以内に来院した脳梗塞患者に対し、来院後25分以内にCT/MRIが施行されている	81.0	86.4	70.0 - 94.0
	3 脳卒中患者に対し、来院後24時間以内にCT/MRIが施行されている	99.1	100.0	99.1 - 100
	4 脳梗塞またはTIAの患者に対し、入院中に頸部血管超音波検査またはアンジオグラフィー(DSAまたはCTAまたはMRA)による頭蓋外動脈の評価がなされている	90.4	95.3	82.7 - 100
	5 脳卒中の診断で入院した患者に対し、Stroke Unit(SU)で治療が行われている	58.7	20.4	0 - 99.0
	6 発症3.5時間以内に来院した脳梗塞患者に対し、rt-PA静注療法が施行されている	89.4	91.2	84.9 - 100
	7 rt-PA静注療法を施行された脳梗塞患者において、搬入から1時間以内にrt-PA静注療法が施行されている	37.9	28.3	12.7 - 44.6
	8 脳梗塞またはTIAの患者に対し、発症48時間以内に抗血小板療法が施行されている	75.2	77.4	60.0 - 93.6
	9 心房細動を合併していない脳梗塞またはTIAの患者に対し、退院時に抗血小板薬が処方されている	48.9	50.0	34.9 - 61.3
	10 心房細動を合併した脳梗塞またはTIAの患者に対し、退院時に抗凝固薬が処方されている	76.2	83.3	64.4 - 94.9
	11 LDLが120mg/dL以上の脳梗塞またはTIAの患者に対し、退院時にスタチンが投与されている	32.6	25.0	10.9 - 43.5
	12 高血圧を合併した脳卒中患者に対し、退院時に降圧薬が処方されている	54.2	55.1	39.3 - 69.2
	13 脳卒中患者に対し、入院後2日目までに深部静脈血栓予防治療が施行されている	34.9	25.9	7.1 - 56.7
	14 脳卒中患者に対し、入院2日以内に理学療法あるいは作業療法が施行されている	57.6	57.4	32.1 - 77.6
	15 脳卒中患者に対し、嚥下評価のスクリーニングが施行されている	77.1	85.6	54.4 - 100
	16 喫煙している脳卒中患者に対し、禁煙指導または禁煙治療が施行されている	60.2	66.7	0 - 100
	17 脳卒中患者に対し、入院中に脳卒中教育が施行されている	72.0	90.0	21.7 - 100

	項目	全国平均 (%)	病院毎 (%)	
			中央値	IQR
CSC	1 最終健常確認6時間以内に来院した脳梗塞患者のうち、 脳血管画像(CTA・MRA)が施行された場合、到着から撮影開始までの時間が30分以内	46.2	36.7	18.3-66.9
	2 血管内再開通療法の適応のある患者に対して血栓回収療法が施行されている	86.4	97	82.5 - 100
	3 血管内再開通療法を施行された急性期脳梗塞患者のうち適応のある患者に対して 治療前にrtPA静注療法を施行されている	65.8	66.7	56.8 - 82.5
	4 血管内再開通療法を施行された脳梗塞患者に関して、 治療後にTICI 2B以上の再開通が得られている	73	72.7	60.0 - 83.0
	5 血管内再開通療法を受けた脳梗塞患者の到着から穿刺までが140分以内	72.3	66.7	36.8-85.9
	6 rtPA静注療法または血管内再開通療法を施行した脳梗塞患者で、 36時間以内に症候性頭蓋内出血を合併した	7.4	0.6	1.8 - 11.1
	7 rtPA静注療法または血管内再開通療法を施行した脳梗塞患者で、 90日後のmRSが記録されている	60.7	67.3	41.9 - 92.3
	8 くも膜下出血または脳内出血の患者に対し、初期重症度が記載されている			
	9 発症48時間以内に到着したくも膜下出血の患者に対して、 発症72時間以内に根治術が施行されている			
	10 くも膜下出血の根治術後の患者に対して、 ファスジルもしくはオザグレレルナトリウムが投与されている			
	11 INR延長(>1.4)を認めた抗凝固薬(ワルファリン)関連脳内出血の患者に対して、 抗凝固薬の中和を行っている			
	12 診断脳血管撮影を行った患者に関して、 24時間以内に脳卒中または死亡をきたした	6.6	0	0-0

出血性脳卒中の項目であり、今回の研究では除外